

2018年度
全国地域福祉施設研修会
第 17 回 児 童 部 会
開 催 要 項

平素、子どもに関わっている方々が、子どものことに絞って、さらに学びを深めようと、2002年9月に、セツルメント施設の小さな集まりである日本地域福祉施設協議会のもとに、「学童・児童部会」として始まった全国研修会です。今回は、名古屋市熱田区にあります発達センターあつた（社会福祉法人名古屋キリスト教社会館）を会場に開催いたします。

さて、みなさん「ことりばす」という言葉を聞いて何をイメージしますか。私は「小鳥バス」という可愛いバスを思い浮かべました。これは、ある放課後等デイサービス事業所のスタッフが、障害のある子どもたちを学校にお迎えに行く車のことを「子取りバス」と言った言葉です。この数年、全国的に事業所数、利用者数が急増した放課後等デイサービスは、株式会社などの参入もあり障害のある子どもたちの放課後を大きく変化させました。子どもたちにとって有意義に過ごす放課後の場ではなく、会社の利益を生み出す為の放課後の場になっているところもあると感じています。

又、このような変化は、学童保育所にも表れてきています。株式会社の運営で、全て英語でコミュニケーションをとっている学童保育、料金の書いたメニューを選んで活動に参加する学童保育所もあるようです。

こういった様々な子どもたちの居場所が広がる中で、私たちはどんな場を子どもたちとつくっていくことができるのでしょうか。子どもたちが学齢期に確かな力を育てていくために大切にしたいことを、あらためて皆さんと一緒に考え合いたいと思います。自らの実践に対する確信を深めるとともに、なすべき課題を探りましょう。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

— 記 —

■ テーマ：あらためて子どもの居場所を考える

～確かな力を育むために大切にしたいこと～

■ 日 時：2018年9月24日（月・祝）
10時30分～16時00分

■ 会 場：発達センターあつた（社会福祉法人名古屋キリスト教社会館）
名古屋市熱田区神宮4-9-12 ☎052-681-1167
名鉄神宮前駅徒歩10分
名古屋市営地下鉄名城線「伝馬町」駅徒歩3分
※車でお越しの方は、施設内に一定数の駐車スペース有ります。

■ 主 催：日本地域福祉施設協議会・東海地区地域福祉推進協会

■ 参加者：児童福祉事業に関わる人たち

【児童福祉事業関係者（施設関係含む）・ボランティア、行政関係者、社協関係者、NPO関係者、研究者、学生等々】

■ 参加費：ひとり 3,000円（資料代、昼食代、保険代等含む）

*参加費は当日、受付にてお支払い下さい。

■ 日 程 (プログラム) -----

- 10:00～10:30 受付
 10:30～10:35 開会式
 10:35～12:00 パネルディスカッション
 <テーマ> あらためて子どもの居場所を考える
 ～確かな力を育むために大切にしたいこと～
 <コーディネーター> 土方 雅幸氏 (生活サポートセンターベル 主任)
 <パネリスト> 佐藤信太郎氏 (児童養護施設 聖マッテヤ子供の家心理士)
 竹内 隆人氏 (比良西学童保育所 指導員)
 坂野 雅世氏 (放課後デイサービスみどりそよ風 管理者)
 12:00～12:45 昼 食(お弁当)
 12:45～14:05 基調講演
 『あらためて子どもの居場所を考える』
 講師; 木全 和巳氏
 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科教授
 14:20～15:50 分散会
 15:50～16:00 閉会式
 17:00～19:00 懇親会 (施設内でBBQをします。短時間でも是非ご参加下さい。)

■ 開催事務局



社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
 ちどり児童会
 指導員 楠木 徹
 〒457-0805 名古屋市南区三吉町6-17
 電話 052-612-1346
 FAX 052-611-9085

- 参加申し込み 原則として、8月31日申し込み締め切り
 大阪地区は大地協で、東京城東地区は城東地協単位でまとめてお願いし
 ます。参加申し込みは原則としてFAXにて受け付けさせていただきます。

F A X 送 信 票
 0 5 2 - 6 1 1 - 9 0 8 5

2018年度
 全国地域福祉施設研修会
 第17回児童部会参加申込書

| | | |
|-------|----|----------------------|
| 参加者氏名 | | |
| 所 属 | | |
| 連絡先 | | |
| 懇親会 | 参加 | 不参加 (どちらかに○をつけて下さい。) |